

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	千歳科学技術大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	チトセカクギジュツダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	理工学部
	担当教職員名・役職	石田雪也(専任講師)他キャリア支援課職員等
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	70
	受入企業等数	74
	受入企業等名	https://www.chitose.ac.jp/career/career_int.html(ただし、ウェブサイト上には、実際に学生の受入れのあった企業等のみ掲載)
インターンシップの分類	4.他県をまたぐ広域インターンシップ,6.大企業・グローバル企業でのインターンシップ,7.中小企業でのインターンシップ,8.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ	
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事,2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.以外での就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	製造や営業の仕事を通して、自分の力で問題点などについて考え、改善点などを社員の前でプレゼンテーションする(一例)。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している,6.当該インターンシップは、選択科目として実施している,8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	3年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	3年次を対象に実施している。授業期間中の事前指導、事後指導と夏期休業中の1～2週間の企業等でのインターンシップを合わせて実施している。各自、参加目的や目標を予め設定し、企業等での実習に参加する。また、終了後振り返りを行うことで学生の主体性に基づく、職業観や勤労観の醸成を促す。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている,2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている,3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている,4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている,2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている,3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	全4回の事前学習のうち、第1回は、インターンシップの趣旨や参加意義について理解し、受入企業等の業務や実施内容を理解する。第2回は、インターンシップ参加前の事前連絡や実習中の態度や取り組み姿勢等について(守秘義務の遵守含む)理解する。また、受入企業等について各自企業研究と各自の参加目的、目標を設定し、レポートを提出する。第3～4回目は、外部講師を招聘し、社会人マナーについて理解する。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	受入企業等には、大学で定めた評価項目に沿って参加学生を評価してもらい、大学より学生にフィードバックする。また、インターンシップ参加学生は、受入企業等の担当者を招聘した成果発表会にて、全員が成果発表を実施する。発表の中では、各自が予め設定した目標についての達成度合いについて検証する。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ中に、教職員が全受入先へ赴き、実習現場の見学、学生や受入担当者等との面談を実施している。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている,3.インターンシップによる到達度を具体的に示した評価基準(例:ループリック)を整備し、学生及び教員で共有している
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	

	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	大学で定めた評価項目に沿って、受入企業等担当者に評価を依頼。その結果は学生にフィードバックするとともに、学生個人の学習カルテに蓄積させる。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間5～10日間(実働)
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	いずれの受入企業等も5日間以上のインターンシップを実施している。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している。4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している。7.その他
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	受入企業等の担当者や大学関係者との意見交換会の場を設け、受入れに対する課題等について共有している。
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップのプログラム設計については、各企業等の特色を出してもらうためにも一任しているが、受入に不慣れな場合などには、適宜話し合いを行っている。また、事後学習の中で実施する成果発表会については、受入企業担当者も招いて実施し、質疑応答などを通じて、学生の学びを深めていただいている。さらに企業等担当者と大学関係者との意見交換会の場を設け、各企業等での受入に対する課題等を共有している。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://www.chitose.ac.jp/career/career_int.html
問い合わせ先	大学等名	千歳科学技術大学
	担当部署名	キャリア支援課
	担当者役職名	係長
	担当者氏名	田中絵美
	電話番号	0123-27-6136
	メールアドレス	employ@photon.chitose.ac.jp